

貸借対照表

【平成 22 年 3 月 31 日現在】

【資産】



314億円

(住民 1 人当たり 134 万円)
土地・建物などの価値



18億円

(住民 1 人当たり 8 万円)
出資証券・定期預金など



12億円

(住民 1 人当たり 5 万円)
現金・普通預金など

【負債】



67億円

(住民 1 人当たり 29 万円)
借金の額



26億円

(住民 1 人当たり 11 万円)
契約等による将来支払額

【純資産】



251億円

(住民 1 人当たり 107 万円)
資産取得のために今までに支払った額

【解説】

八千代町で保有している資産は、これまでに整備してきた庁舎、学校、公園、道路などの固定資産の現在価値が 314 億円、出資金や目的をもって貯蓄している預金などが 18 億円、現金預金などが 12 億円あります。住民 1 人当たりになると 147 万円の資産を保有していることになります。

それでは、それらの資産をどのように取得したかをみてみましょう。

まずは銀行などからの借金が 67 億円、いわゆる“つけ”による未払金や退職金の見込額などで 26 億円が負債としてあります。これは将来世代が負担しなければならない金額で住民 1 人当たりになると 40 万円になります。

また、既に支払を終えているものが純資産の 251 億で、今までの世代が負担してきた分となります。これを住民 1 人当たりになると 107 万円になります。